

福島県 ロボット・ドローン関連産業分野における地域産業クラスター計画の概要

1. 産業領域

ロボット・ドローン関連産業

<特定理由>

- 世界的な市場動向（成長性）及び国の政策動向（AIロボティクス戦略、無人機量産体制の整備等）
- 国家プロジェクト（イノベーション・コースト構想）及び連携“絆”特区の動き
- 福島ロボットテストフィールド（RTF）・F-REI・会津大学等の研究開発・実証環境や、高度な技術力を有する企業群の存在

2. 対象エリア

南相馬市、会津若松市、いわき市及び
県北・県中地域等の周辺地域

ロボット
サプライチェーン構築・人材育成

ドローン
規制合理化・量産体制の構築



産業クラスターの形成

3. 目指す姿（目標）

（1）現状

- 福島県の強みと国の戦略・政策の整合性（AIロボティクス戦略、無人航空機の量産体制整備等）
- 研究開発・実証環境の優位性及び技術力を有する企業群（スタートアップ等）の存在
- 市場・需要創出の課題（市場の未成熟、システムインテグレーター（SIer）・専門人材不足、企業間連携の必要性、更なる規制合理化の必要性等）

（2）KGI・KPI

- 官民投資設備額
5年で合計160億円程度の投資創出
- 付加価値増加額
5年で合計1,794億円程度付加価値増
- 産業人材育成数
612人(R8) → 1,755人(R12)

※中間評価のため、県産ロボット認定件数等をモニタリング指標（KPI）に設定

4. 勝ち筋

（1）イノベーションの核を活かした産業集積

全国有数の研究機関や県内大学（会津大学等の高等教育機関、福島ロボットテストフィールド・F-REI等）を核にしたイノベーション・スタートアップ創出と県内企業への成果波及、イノベーションの核を活かした更なる産業集積・誘致等の推進

（2）ソフトウェアを軸としたロボット開発

会津大学等の強み（ソフトウェア・AIロボティクス）を活かしたサービスロボット・協働ロボットで優位性確保及び社会実装・取引拡大

（3）無人機量産の動きを捉えた市場獲得

経済安全保障上のニーズを捉えた県内メーカー・部材企業のドローン国産化及びサプライチェーン構築需要の取り込み

（4）「実証の聖地」としての優れた実証環境

“絆”特区、福島ロボットテストフィールド等を活かした実証の呼び込み

5. 政策手段

（1）取組に向けた課題

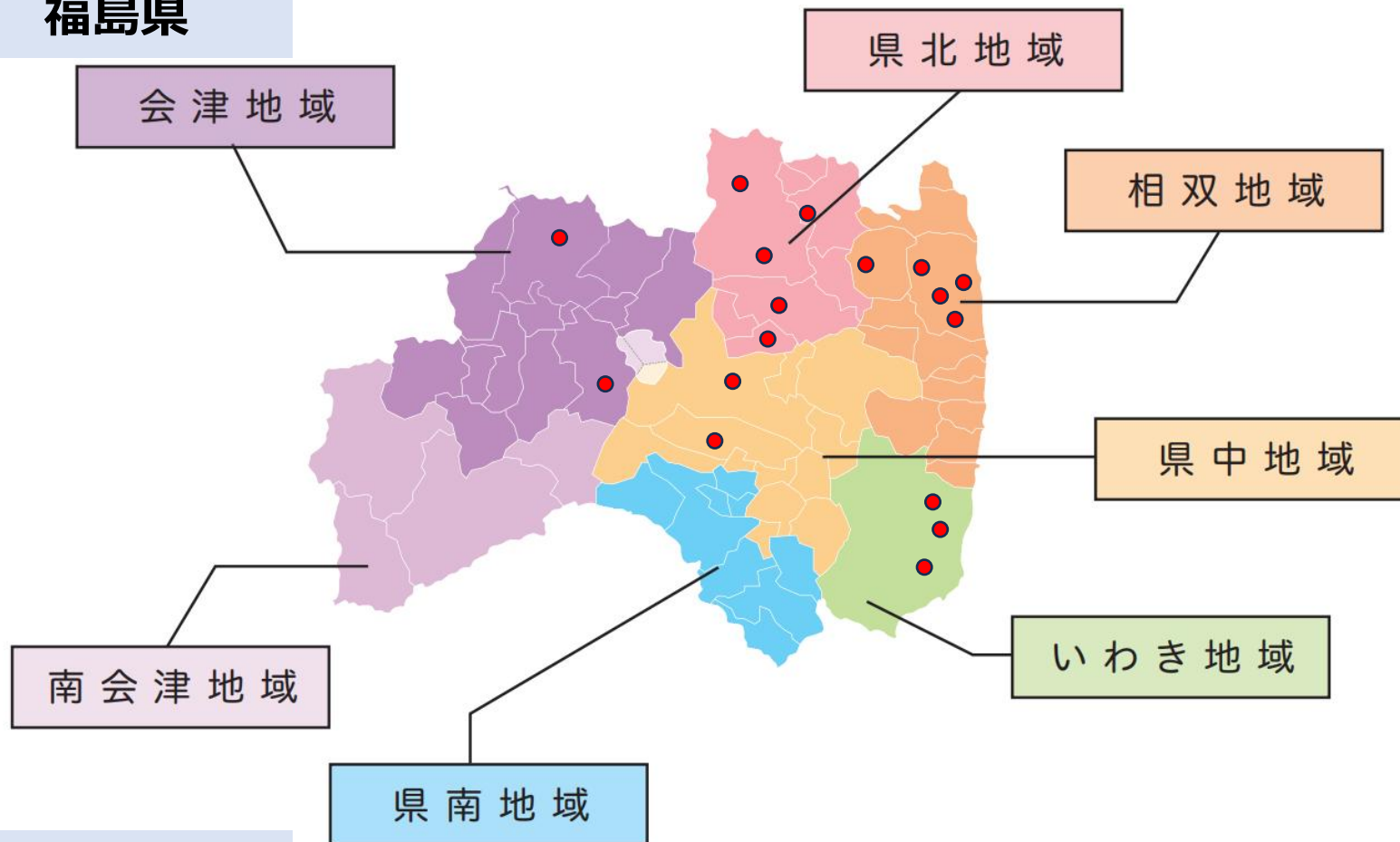
- ① 実証フィールド間競争における優位性確保（実証環境整備・強化）の必要性
- ② 市場創出・社会実装のボトルネック解消（社会実装・取引拡大までのハードル、システムインテグレーター（SIer）不足、サプライチェーンの脆弱性、投資不足、ドローン分野等の規制合理化等）
- ③ ロボット・ドローン分野の高度人材不足
- ④ イノベーション創出の環境整備（産学連携促進等）の必要性

（2）講じるべき政策パッケージ

- ① 福島ロボットテストフィールド・F-REI・イノベ機構等の関係機関と連携し、伴走支援、企業間ネットワーク構築、企業誘致、新規参入促進、販路拡大、人材育成等の施策を一体的に推進
- ② 県内大学等と連携し、高度人材育成及びイノベーション創出を支援

福島県 ロボット・ドローン関連産業分野における地域産業クラスター計画の概要

福島県



福島ロボットテストフィールド



Copyright © 2017 Fukushima Prefecture. All Rights Reserved.

核となる企業

(株) 菊池製作所、マブチモーターマイクロテック (株)、
(株) 東日本計算センター、(株) F S K、
福島コンピューターシステム (株)、(有) 飯田製作所、
(株) 福島三技協、(株) ハマ、(株) メカテック、
(有) 協栄精機、(株) 日本アドシス、
イームズロボティクス (株)、(有) ワインディング福島、
(株) ドローンWORKシステム、
(株) Eyes, JAPAN、(株) リビングロボット、
(株) ミューラボ



ミューダイナミクスグリップ RBCK30-320M1
(株) ミューラボ



E6150TC
イームズロボティクス(株)



PEEK樹脂製の歯車加工の事例 (有) 飯田製作所